



☞ 解答は「考え方と解答」24ページ

基本問題

146 次のような直角三角形 ABC ($\angle B=90^\circ$) において, $\sin A$, $\cos A$, $\tan A$ の値を求めよ。

- (1) $AC=8$, $BC=4$ (2) $AB=2$, $BC=3$
 (3) $AB=2a$, $BC=\sqrt{3}a$ ($a>0$) (4) $AC=a^2+b^2$, $AB=a^2-b^2$ ($a>b>0$)

147 次の式の値を求めよ。

- (1) $\cos 30^\circ + 2 \sin 45^\circ \cos 45^\circ$ (2) $\cos 60^\circ \sin 30^\circ - \sin 60^\circ \cos 30^\circ$
 (3) $\cos 30^\circ \tan 45^\circ - \sin 45^\circ \tan 60^\circ$ (4) $(\sin 60^\circ - \tan 45^\circ)(\cos 30^\circ + \tan 45^\circ)$

148 次の三角比を 0° から 90° までの角の三角比で表せ。また, 0° から 45° までの角の三角比で表せ。

- (1) $\sin 162^\circ$ (2) $\cos 170^\circ$ (3) $\tan 123^\circ$

149 次の式を計算せよ。

- (1) $(\cos 120^\circ + \sin 135^\circ)(\cos 150^\circ + \sin 120^\circ)$
 (2) $\cos \theta + \cos(180^\circ - \theta) + \sin(\theta + 90^\circ) - \sin(90^\circ - \theta)$
 (3) $\sin(90^\circ - \theta)\cos(180^\circ - \theta) - \cos(90^\circ - \theta)\sin(180^\circ - \theta)$

150 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ のとき, 次の値を求めよ。

- (1) $\sin \theta = \frac{5}{13}$ のとき, $\cos \theta$, $\tan \theta$ (2) $\cos \theta = -\frac{4}{5}$ のとき, $\sin \theta$, $\tan \theta$
 (3) $\tan \theta = -2$ のとき, $\sin \theta$, $\cos \theta$

151 次の式を計算せよ。

- (1) $(\sin \theta + \cos \theta)^2 + (\sin \theta - \cos \theta)^2$ (2) $\sin^2 \theta - (3 + \cos \theta)(3 - \cos \theta)$
 (3) $(\sin \theta + \cos \theta)^2 - 2 \cos^2 \theta \tan \theta$ (4) $\tan^2 \theta - \sin^2 \theta - \tan^2 \theta \sin^2 \theta$

標準問題

152 次の等式を証明せよ。

(1) $\tan \theta + \frac{1}{\tan \theta} = \frac{1}{\sin \theta \cos \theta}$

(2) $\frac{\sin \theta}{1 + \cos \theta} + \frac{\sin \theta}{1 - \cos \theta} = \frac{2}{\sin \theta}$

(3) $\cos^2 \theta - \sin^2 \theta = \frac{1 - \tan^2 \theta}{1 + \tan^2 \theta}$

(4) $(1 + \sin \theta + \cos \theta)(1 + \sin \theta - \cos \theta) = 2(1 + \sin \theta) \sin \theta$

153 次の式の値を求めよ。

(1) $\sin \theta + \cos \theta = \frac{2}{3}$ のとき, $\sin \theta \cos \theta, \sin^3 \theta + \cos^3 \theta$ (京都産業大-経営)

(2) $\sin \theta + \cos \theta = \frac{1}{\sqrt{2}}$ のとき, $\sin^4 \theta + \cos^4 \theta$ (四日市大-経済)

(3) $\sin \theta + \cos \theta = \frac{1}{2}$ のとき, $\frac{1}{\sin \theta} + \frac{1}{\cos \theta}$ (千葉工大)

154 (1) $135^\circ < \theta < 180^\circ$ で $3 \sin \theta \cos \theta = -\sqrt{2}$ のとき, $\sin \theta + \cos \theta = \square$

(2) $\frac{\sin \theta - \cos \theta}{\sin \theta + \cos \theta} = 3 - 2\sqrt{2}$ のとき, $\cos \theta = \square$ (北見工大)

(3) $\sin \theta + \sin^2 \theta = 1$ のとき, $\cos^2 \theta + 2 \cos^4 \theta = \square$ (昭和薬大)

(4) $0^\circ < \theta < 180^\circ$ で, $\sin \theta + 2 \cos \theta = \sqrt{3}$ のとき, $\sin \theta = \square$

155 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ のとき, 次の等式をみたす角 θ を求めよ。

(1) $2 \sin \theta - \sqrt{3} = 0$

(2) $\sqrt{3} \tan \theta - 1 = 0$

(3) $(\sin \theta - 1)(2 \sin \theta - 1) = 0$

(4) $4 \cos^2 \theta = 3$

(5) $2 \cos(\theta - 60^\circ) = 1$

(6) $2 \sin^2 \theta = 3 \cos \theta$

156 (1) $-90^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$ のとき, $2 \sin^3 \theta - 5 \sin^2 \theta + \sin \theta + 2 = 0$ が成り立つのは $\theta = \square$ のときである。

(川崎医大)

(2) $-180^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ で, $\tan \theta = \frac{x}{2-x^2}$ とする。 $x^2 - (1 + \sqrt{3})x + \sqrt{3} = 0$ のとき, $\cos \theta$ の値を求

めよ。

(徳島文理大)

Back!
Help!「セミナーノート」第9講座 33~36 ページ
「数学 α の完全整理」66~74 ページ

基本問題

157 $\triangle ABC$ において、次の場合に () 内の値を求めよ。ただし、 R は外接円の半径である。

- (1) $a=10, A=45^\circ, C=30^\circ$ (c, R)
- (2) $A=60^\circ, R=5$ (a)
- (3) $b=\sqrt{2}, c=2, C=45^\circ$ (B, R)
- (4) $a=2, b=2\sqrt{3}, A=30^\circ$ (B, c)
- (5) $a=2, b=2\sqrt{3}, C=30^\circ$ (c)
- (6) $b=3, c=2\sqrt{2}, A=45^\circ$ (a)
- (7) $a=3, b=7, c=5$ (B)
- (8) $a=2, b=1+\sqrt{3}, c=\sqrt{2}$ (A)

158 次の $\triangle ABC$ の面積を求めよ。

- (1) $b=7, c=5, A=30^\circ$
- (2) $a=\sqrt{3}, b=1, C=120^\circ$
- (3) $b=\sqrt{2}, c=3, A=45^\circ$
- (4) $a=3, b=5, c=7$

159 $\triangle ABC$ において、次のものを求めよ。

- (1) $a=2, \cos A = \frac{1}{\sqrt{3}}$ のとき、外接円の半径 R
- (2) $b=2, A : B : C = 2 : 3 : 7$ のとき、 a , 外接円の半径 R
- (3) $(b+c) : (c+a) : (a+b) = 4 : 5 : 6$ のとき、 $\sin A : \sin B : \sin C$
- (4) $a : b : c = 2 : 3 : 4$ のとき、 $\cos A : \cos B : \cos C$
- (5) $a=\sqrt{2}, b=2, c=1+\sqrt{3}$ のとき、最小の角と、その大きさ

160 (1) $\triangle ABC$ において、 $\angle A=60^\circ$ とする。BC : CA : AB = $k : 3 : 2$ ならば $k = \square$ である。

(2) $\triangle ABC$ において、 $\sin A : \sin B : \sin C = 3 : 5 : 7$ のとき、 $a : b : c = 1 : \square : \square$ であり、最大の内角の大きさは \square° である。
(関西学院大-法)

(3) 半径 10 の円に内接する $\triangle ABC$ の 3 辺の比が $a : b : c = 8 : 5\sqrt{2} : 7\sqrt{2}$ のとき、 $\cos A = \square$ であり、 $\triangle ABC$ の面積は \square である。
(中京大)

(4) $\triangle ABC$ で、 $AB=AC=4$, 面積が 4 のとき、 $\angle A = \square^\circ$ または \square° である。

161 $\triangle ABC$ において、次のものを求めよ。

- (1) $a=\sqrt{6}, b=2\sqrt{3}, c=3+\sqrt{3}$ のとき、最小角と、その大きさ
- (2) $b=2, c=2\sqrt{3}, B=30^\circ$ のとき、 A からの高さ AD および a

162 $\triangle ABC$ において、次の等式を証明せよ。

- (1) $(b+c)\sin A = a(\sin B + \sin C)$ (2) $a \sin(A+C) = b \sin(B+C)$
 (3) $(a-b)\sin C + (b-c)\sin A + (c-a)\sin B = 0$
 (4) $a(\cos B - \cos C) = (c-b)(1 + \cos A)$ (5) $(a - c \cos B)\sin A = (b - c \cos A)\sin B$
 (6) $a(b \cos C - c \cos B) = b^2 - c^2$

163 (1) $\triangle ABC$ の3つの角 A, B, C の間に、 $3 \sin A = 4 \sin B = 6 \sin C$ が成り立つ。このとき
 $\sin B = \square$, $\cos C = \square$ である。 (神戸女子薬大)

(2) 二等辺三角形の1つの角が 120° で、その面積が $4\sqrt{3}$ であるとき、3辺の長さの和は \square であり、外接円の面積は \square である。 (南山大-経営)

164 $\triangle ABC$ において、 $a=13, b=14, c=15$ であるとき、次のものを求めよ。

- (1) 各辺への高さ (2) 外接円の半径 (3) 内接円の半径

165 円に内接する四角形 $ABCD$ において、 $AB=5, BC=3, CD=2, \angle B=60^\circ$ であるとき、次のものを求めよ。

- (1) AC (2) $\angle D$ (3) AD

166 $\triangle ABC$ において、3辺の長さ a, b, c が2つの条件

$$a^2 = b^2 + c^2, \quad \frac{1}{a+c} + \frac{1}{b+c} = \frac{3}{a+b+c}$$

を同時に満足するとき、角 A, B, C を求めよ。 (徳島文理大-工)

167 $\triangle ABC$ において、 $BC=18, AC=15, AB=12$ とする。角 A の二等分線が BC と交わる点を D とするとき、長さ AD を求めよ。 (立教大-理)

168 $\triangle ABC$ において、次の関係が成り立つとき、 $\triangle ABC$ はどのような形の三角形か。

- (1) $a \sin A = b \sin B$ (2) $\sin^2 A + \sin^2 B - \sin^2 C = 0$
 (3) $a \cos C = c \cos A$ (4) $a \cos B - b \cos A = c$
 (5) $\sin A + \sin B = \sin C(\cos A + \cos B)$

標準問題

- 169 $\triangle ABC$ において、次の等式を証明せよ。
- (1) $\frac{a-c \cos B}{\sin B} = \frac{b-c \cos A}{\sin A}$
 - (2) $(a^2 - b^2 + c^2) \tan B = (a^2 + b^2 - c^2) \tan C$
 - (3) $\sin^2 B + \sin^2 C - 2 \sin B \sin C \cos A = \sin^2 A$
- (京都教育大)

- 170 $\triangle ABC$ において、3辺の長さ a, b, c は $\frac{c}{a+b} + \frac{b}{c+a} = 1$ をみたす。このとき、
- (1) $\angle A$ を求めよ。
 - (2) $a = \sqrt{7}c$ であるとき、 $\sin B, \sin C$ を求めよ。
- (関西大-経済)

- 171 $\triangle ABC$ において、 $2b = a + c = 8$ がみたされているとする。このとき、
- (1) $\cos A$ を c で表せ。
 - (2) $\triangle ABC$ の面積が $3\sqrt{5}$ で、 $c > a$ をみたすとき、 c の値を求めよ。
- (大阪市大-文系)

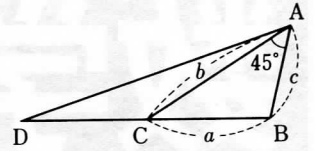
- 172 $\triangle ABC$ において次の関係が成り立つとき、3辺の比 $a : b : c$ を求めよ。
- $$\sin^2 A + \sin^2 B = \sin^2 C, \quad \cos A + 5 \cos B + \cos C = 5$$
- (自治医大)

- 173
- (1) $\triangle ABC$ において、 $\angle A + \angle B = \angle C$, $AB = CA^2$, $BC = 1$ であるとき、 $AB = \square$ である。
 - (2) 半径4の円に内接する $\triangle ABC$ において、 $4 \sin(A+C) \sin B = 1$ が成り立つとき、辺 AC の長さは \square である。
(千葉工大)
 - (3) $\triangle ABC$ において、 $AB = AC = \sqrt{12}$, $BC = \sqrt{3}$ のとき、 $\cos C$ の値は \square である。また、頂点 B から辺 AC に垂線 BH をひくとき、 CH の長さは \square である。
(北海道薬大)

- 174 半径 $\frac{\sqrt{5}}{2}$ の円に内接する二等辺三角形 ABC において、 $AB = AC = 2$ とする。また、 A を通るこの円の直径を AD とする。このとき、
- (1) $\sin \angle BAD = \square$, $BC = \square$, $\triangle ABC$ の面積 $= \square$, $\sin \angle BAC = \square$ である。
 - (2) さらに、線分 AB を $3 : 1$ に内分する点を M , 線分 AC の中点を N とするとき、
 $\triangle AMN$ の面積 $= \square$, $MN = \square$
 である。

175 右の図の $\triangle ABC$ において、 $\angle CAB=45^\circ$ 、 $b=\sqrt{3}+1$ 、 $c=\sqrt{2}$ である。このとき

- (1) a の長さは
 (2) $\angle ACB=\text{}^\circ$
 (3) $AC=DC$ とするとき、 $\triangle ADB$ の外接円の半径の長さは
 である。



176 長さ x 、 $x+1$ 、 $x+2$ の3つの線分が三角形の3辺となるための x の範囲を求めよ。次に、これが鈍角三角形であるときの x の範囲を求めよ。 (共立女大)

177 四角形 ABCD において、 $AB=1$ 、 $\angle ABC=45^\circ$ 、 $\angle ACB=60^\circ$ 、 $\angle BAD=105^\circ$ 、 $\angle ADB=45^\circ$ とする。このとき、対角線 AC の長さは $AC=\frac{\sqrt{\text{}}}{\text{}}$ である。また、 $\angle ABD=\text{}^\circ$ であるから、 $AD=\frac{\sqrt{\text{}}}{\text{}}$ であり、 $CD=\frac{\sqrt{\text{}}}{\text{}}$ である。 (センター試験)

178 $\triangle ABC$ は $\angle A=120^\circ$ 、 $AB \cdot AC=1$ をみたす。 $\angle A$ の二等分線と BC との交点を D とする。

- (1) $AB=x$ とおいて、AD を x で表せ。
 (2) x が動くとき、AD の最大値とそのときの x を求めよ。 (北大-理系)

179 $AB=2$ 、 $AC=1$ 、 $\angle A=\theta$ の $\triangle ABC$ において、辺 BC を直径とする半円を BC に関して A と反対側につくる。動点 P が半円周上を動くとき、線分 AP の長さの最大値を m とする。

- (1) $\theta=60^\circ$ のとき、 $m^2=\frac{1}{2}(\text{}+\sqrt{\text{}})$ である。
 (2) θ が $0^\circ<\theta<180^\circ$ で変わるとき、 m は $\theta=\text{}^\circ$ で最大値 をとる。 (東京薬大)

180 $\triangle ABC$ において、3辺 AB、BC、CA の長さがそれぞれ 1、2、 x であるとする。

- (1) $\triangle ABC$ の面積を最大にする x の値を求めよ。
 (2) $\triangle ABC$ の内角 C を最大にする x の値と、そのときの最大値を求めよ。 (神戸大)



Back!
Help!

「セミナーノート」第10,11講座 37~44 ページ
 「数学 α の完全整理」75~86 ページ